

白樺会ふれあいいいきいきサロン通信3月発行

2月28日に、今年度最後の「白樺会ふれあいいいきいきサロン～スプリングコンサート」が開催されました。



今回のゲスト、水野 厚先生は現在とうべつ学園学習支援員をしながら、ライフタイムウインドオーケストラの指揮者として札幌を中心に演奏活動をされています。長年、中学校音楽教諭として吹奏楽部の指導や、地域の音楽活動に尽力されていた方だけあり、演奏はもちろん、トークも大変楽しく、あっという間の1時間でした。

オープニングは小学生が持っているソプラノリコーダーによる「いい日旅立ち」、そしてひと回り大きいアルトリコーダーで「イギリス民謡メドレー」。懐かしいメロディーに、参加者が思わず口ずさむ場面にほっこりしました。

水野先生が厚田村（現石狩市）在職中に作曲した「厚田あったか夢ロード」の弾き語り「いい歌だねえ」と大きな拍手が起こりました。

極小のソプラニーノリコーダーでの「ウィリアムテル序曲」の演奏のテクニックは圧巻！



後半は、八代亜紀、坂本冬美、美空ひばりなどの演歌シリーズをしっかりと奏で、最後は参加者と一緒に「大空と大地の中で」「虹と雪のバラード」「また逢う日まで」など、懐かしい歌で締めくくりました。



新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、以前のようなサロンがもどりつつある1年間でした。次年度も「ふれあいいいきいきサロン」をよろしくお願いします。

2本のリコーダーをくわえて一人合奏
というパフォーマンスにもびっくり！



